



第2回 取引相場のない株式 (株 価 鑑 定)

2020.07.06
2020.02.17
2019.08.13
会計と経営のブラッシュアップ
平成30年12月17日
山内公認会計士事務所

本レジュメは、企業会計基準及び次の各書を参考にさせていただいて作成した。(企業価値評価ガイドライン 日本公認会計士協会編)
(株式・新株予約権の評価と実務マニュアル 茂原敏明著 2006.4 清文社発行)(非公開株式評価の実務 佐藤信雄著 2008.7 日本法学会刊)
(取引相場のない株式の移転 森 富幸著 日本評論社)(創価教育学体系 牧口常三郎) 2014.6 聖教新聞社刊
(非公開株式鑑定評価の実務 高橋義雄著 H12.3 清文社刊から)
(株式鑑定評価マニュアルA 日本公認会計士協会 経営研究調査会 2019.9 商事法務研究会 発行)

I 企業価値とは何か

- ① 企業価値とは企業が将来にわたって生み出す価値の合計
- ② 価値とは企業に対する社会の評価の結果
- ③ 価値とは人を幸福にするもの

株主は計という考えは誤っている!!

1. 企業とは、継続して、価値を生み出す (経営資源の実現)

- (1) 価値を出来るだけ多く実現し続けることを目的として設立される
- (2) 価値をあげ続けるためには社会に対して役立たなければならない(人の幸福)
- (3) 「企業価値を創造せよ、さもなくば撤退せよ」とは、(1)、(2)を要約したものでいつの時代にも変わらない原則である
- (4) 会計は企業価値の表現と報告であるべき
- (5) 価値により①人の幸せと②社会への貢献を目指す

企業価値の向上は、パフォーマンスと評価である。
(実行) (監視)

2. ライブドアや村上事件は、継続的価値(企業価値)を目標としたか

ニッポン放送に対する敵対的TOB(株式公開買い付け)は、企業価値を十分に高めて経営を行っていない企業に対して、株式を買い集め、その経営権を握って企業価値を高めようとする者からの買収攻撃でもあった。

村上ファンド(非効率な企業経営を行う企業に対し「もの言う株主」として資産の有効活用による企業価値の向上等を提案した)はライブドア代表者からニッポン放送株式の獲得(目標3分の1)の情報を得て、同株の買付を行ない、ライブドアの株式取得中(5%)に株式を売却して利益を得た。

H21.2.3 東京高裁は村上世彰氏のインサイダー取引を認定し、懲役2年(執猶3年)及び罰金300万円、追徴金11.49億円の判決を言い渡した。



コラム

いいね!

3

ツイート

4

G+1

0

"日本株式会社"の株主構成はどう変わるのか

2019

2015年6月29日

金融調査部 主任研究員 太田 珠美

2015年6月18日に東京証券取引所・名古屋証券取引所・福岡証券取引所・札幌証券取引所から「2014年度株式分布状況調査の調査結果について」が公表された。投資部門別株式保有比率(金額ベース)を見ると、外国法人等(以下、海外投資家)が前年度比プラス0.9%ptの31.7%と過去最高を更新する一方で、個人・その他(以下、個人投資家)は前年度比マイナス1.4%ptの17.3%で過去最低となった(図表1)。この他、金融機関は前年度比0.7%ptプラスの27.4%、事業法人等は前年度と同じ21.3%となった。なお、事業法人等の保有比率には自己株式(金庫株)が含まれており、3.4%は金庫株保有によるものである。日本の株式市場全体を1つの会社とみなせば、海外投資家が一番の大株主で、次いで金融機関、事業法人等、個人投資家ということになる。

事業法人や金融機関(うち銀行)の保有比率は今後低下するかもしれない。2015年6月1日から実施されたコーポレートガバナンス・コードは、上場会社の経営陣に対して政策保有株式の経済合理性や将来の見通しを検証することを求めており、今後上場会社による政策保有株式の精査が進むことが予想される。2015年6月20日付の日本経済新聞朝刊によれば、既に新日鐵住金や三菱地所、コマツ等、いくつかの上場企業が政策保有株式の削減方針を打ち出しているという。

また、2015年6月22日の産業競争力会議で公表された『日本再興戦略』改訂2015の素案には「金融機関のガバナンスや経営体力強化に向け、(中略)政策保有株式の縮小等の動きを引き続き注視する」という内容が明記された(ここでいう金融機関とは実質的には銀行である)。銀行の株式保有に対して厳しい視線が向けられており、今後削減が進む可能性がある。

事業会社や銀行が政策保有株式の削減を進めた場合、その受け皿が気になるところだ。参考までに諸外国の株式の投資部門別保有比率を確認したところ、イギリスやドイツの上場株式は海外投資家の保有比率が5割を超え、最大となっている(図表2)。アメリカは非上場株式も含んだ数値になるが、金融機関の保有比率が5割弱、次いで家計・対家計民間非営利団体が4割弱となっている。

日本は国内の家計金融資産が潤沢であることから、個人投資家が直接、もしくは金融機関(機関投資家)を通じて間接的に受け皿になる(保有比率を増やす)ことが自然であるように思われる。しかし、グローバル展開を積極的に行っている企業は、より多くの海外投資家に株主になってもらいたいと考えているかもしれない。企業がどのような投資家に株主になってもらいたいと考え、それをIR活動や資金調達方法に反映させることが最終的な株主構成に大きく影響する。企業のIR戦略・財務戦略が従来以上に問われることになりそうだ。

2019頃			将来	
外国法人	29.6		↓	
金融機関	29.5	日銀の買入	↓	
事業法人	22.3	(自己株式の割合を減らす)	↓	
個人投資家	16.5		→	
97.9			株価 →	
			2020.07.06	

3. 企業価値の評価に関する変化

(1) 会計制度の改革

会計基準の国際的統合化の波。

連結決算中心主義、年金負債等のオンバランス化、金融商品の時価評価等。
海外と同一尺度で計られることとなった日本企業の財務。

(2) 株式所有構造の変化

1990 35%
2018 10.4%

従来日本企業は、事業法人や金融機関などの**安定株主**の存在（持ち合い株）により、他企業からの買収の脅威の少ない経営をすることができた。
しかし、それは必ずしも企業価値の最大化を目指すことに適合しない。

(3) M & Aの増加

グローバル競争の激化に伴い、もはや一企業の競争力では市場に残って行けない。企業価値を十分に高めなければ敵対的M & Aの標的となる。

4. 企業買収の脅威

(経営資源の集約)

(1) 株式持合などによる安定株主の変化（株式所有目的の明確化）

(2) 株式交換による買収資金の不要化、容易化

(3) 終身雇用制など日本的経営の崩壊による人事制度や環境の変化

(4) 企業の評価

企業は日々動いている。会計とはその生きた企業を写し出す技術である。
企業評価とは企業の価値をとらえることであり、企業の過去の情報（資産の成長性、収益性等）と現在の情報（他社との比較、資産活用の効率性、リスク評価等）と将来の情報（事業計画、将来予測等）の適正な収集と適切な評価である。

評価項目	過去	現在	将来
財 産			
事 業			
収 益			
リスク	△	○	◎

従来企業の事業性評価が重要になる

最適資本構成

No.

Date 2018.01.29

(計画をたてる)

会計とファイナンスの統合

2009-7 高田正孝著 日本経済出版社

1. 7012 以外

資金調達

借入金 (返済計画)

自己資本 (資本比率)

使用総資本

2. コスト

(1) 調達すべき資金

K

(2) Bk 借入 他人資本コスト (率)

s

(3) 自己資金 自己資本コスト (率)

t

(4) 調達資金のうち 他人資本割合

V

3. 他人資本の構成割合

$$V = \frac{t}{s+t}$$

最適資本構成

4. MM (モディリアニ・ミラー) 理論

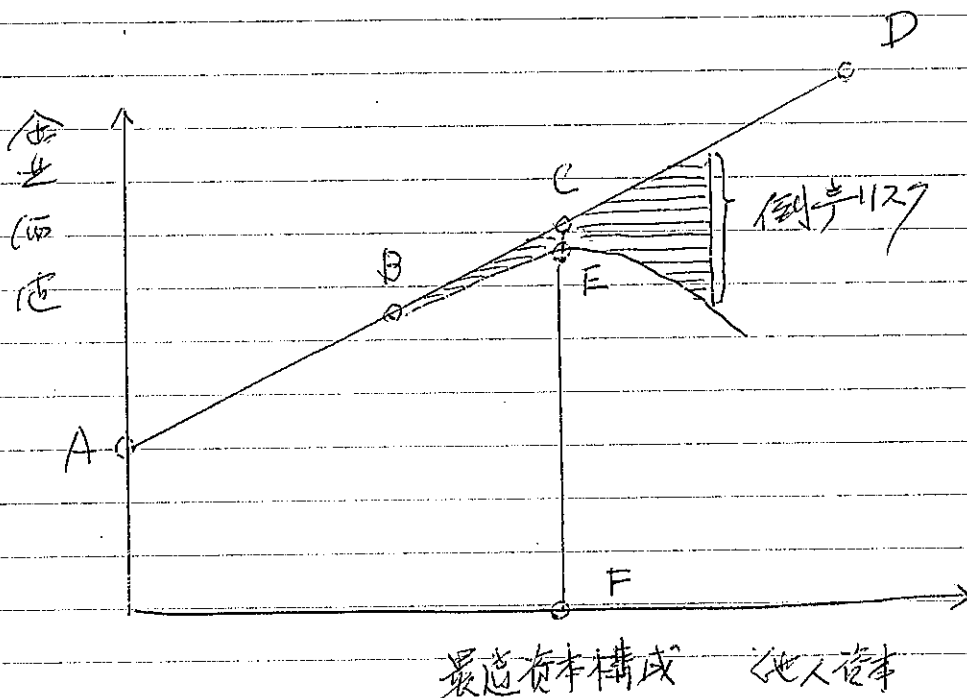
(1) 法人税が存在しない場合、

他人資本と自己資本の構成比率は、企業価値に
影響を及ぼさない

(2) 法人税が存在する場合

他人資本の割合が増えるにつれて節税効果が生じ、
企業価値は高まる

(3) 他人資本の限度

他人資本の増大は、倒産リスクの増大に伴い、
ある限度を超えると企業価値は減少する。

5. 具体的な投資701227の存在

- (1) 必要な資金の規模
- (2) 他人資本と自己資本の割合

借入金 K

の増分 dK

時間 dT

$$\frac{dK}{dT} = \rho K$$

ρ は比例定数
(他人資本コスト率)

$$\frac{dK}{dT} \dots \text{瞬間に発生する利息}$$

$$\rho K \dots \text{支払利息}$$

$$\frac{dK}{K} = s \cdot dt \quad (dt \text{ は時間・作業量 単位})$$

s : 他人資本コスト率

t : 自己資本コスト率

$$\int \frac{dK}{K} = \int s \cdot dt$$

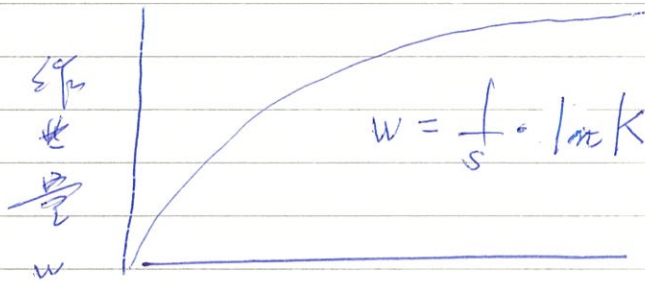
$$\log_e K = st + C \quad (C \text{ は積分定数})$$

($\log_e$ は自然対数 $\log_e e$)

$$\log_e K = st \quad \therefore K = e^{st}$$

6. 収穫逕減

制約条件



収穫逕減の法則

生産要素数、生産量 K他人資本の構成割合 ν 自己資本の構成割合 $(1-\nu)$ 自己資本の額 $K(1-\nu)$ 他人資本を表わす回数 $w = \frac{f}{s} \cdot \ln K \nu$ 自己資本を x $w = \frac{f}{x} \cdot \ln K (1-\nu)$

5. 公正価値とは

金融商品の市場価額、資産の証券化、企業の評価などにおいて、公正価値が要求される。

- (1) FASB、IASB の定義「測定日における市場参加者の秩序ある取引のなかで、ある資産を売却することで受取るであろう価格、あるいはある負債を移転することで支払うであろう価格、時価が想定される

(2) 公正価値

一般的には時価である。多数の売手と買手が経済合理性により市場を通じて取引するときの価格によって資産を評価した額をいう。活発な取引が成立する市場等の存在により、客観的妥当性が存在すると考えられる。

(3) いかに公正価値を見積るか（企業評価の場合）

①コスト・アプローチ

時価純資産評価額である。過去に成長しているとき、
すべての資産項目と負債項目の時価を個別に評価して、その差額である時価ベースの純資産を株主価値とする評価方法。

②インカム・アプローチ

過去及び将来の利益（年間基準利益）を計算し、資本還元率（マーケットリスクプレミアム）で資本還元する方法である。一連の予測経済利益を適切な割引率または資本還元率によって現在価値に割引いて算定する。

③マーケット・アプローチ

公開会社の場合には時価である「市場株価方式」を適用し、未公開会社の場合には「類似公開会社方式」又は「類似取引方式」を適用する。
マーケット・アプローチの利点は、実際の株価、取引額に基づいているという実証的な面はあるが、欠点としては、類似公開会社又は類似取引の選定などの困難な点がある。

(4) リーマンショック

2008 年 9 月の金融危機による金融市場の機能不全は、公正価値会計に対する不信を起こした。

IASB は同年 10 月に「市場が活発でない場合の金融商品の公正価値と開示」を公表し、市場が活発でない場合には、市場価格をベースとした修正理論価格といった合理的に算定された価額を開示し、公正価値とすべきとした。

企業価値が経済資源の集約性や配分性に左右される

過去に成長しているとき

過去に成長しているとき、あるいは、

客観性のある評価
行い得るか？

営業権の評価

No. _____

Date _____

(1) 収益(還元)価格 > 時価純資産価格 (営業権計上)

時価純資産を上回る --- ^{以下} 上回れば 営業権は無い。
この営業権計上は
必要ない

↓
なければ営業権の計上は
必要ない? ?

① 収益価格評価

営業権計上
② 時価純資産評価

先ずは、②を計算し、①か上回るか
を判断。

③ ①②とは別に計算し
増減基本価差率の営業権

どうすれば計上できるのか?

④ 結果評価
② + ③ = ④ とする

① 収益価格 - ② 時価純資産 = 営業権? ?
無ければ 逆の場合?

① - ② = Δ この場合は営業権はないか?

これなら③の計上の余地はないか?

(2) 収益価格 < 時価純資産価格 (営業権計上)

このときは、営業権は発生せず、純資産価格は営業権評価
は行わないのか?

(3) DCF法による営業権の算定

DCFの標準価値 (又は単価価値) を算出し、

それと実際の時価純資産との差額に則し営業権を算定する

すなわち、このように④になる

株式評価

2018.7.20 佐藤佳祐

非上場株式評価の業務上

(1) 取引目的の株式評価は、

交渉や意思決定の参考にするために行われる

(2) 提出先の評価式という要素も含まれる

納得しやすい 落としどころ

(3) 中小企業の M&Aでは (DCFが合理的としても)

時価総額や価額に、売却額と 3~5年の利権を加えて
株式評価を行うことが多い

(4) 支配株主としての株式評価と 少数株主としての株式評価

会社に対する支配力の有無

(5) インカム・アフォーラブル

将来の収益獲得能力、市場での取引環境等の判断

意思決定の排除が難しく、客観的でない

(6) マージナル・アフォーラブル

類似会社や類似取引が存在しない

(7) ネグティブ・アフォーラブル

インカム・アフォーラブルへの評価に欠ける

この点を排除していることを示す

簿記・会計

②連結

2020.07.06

1. 連結会社 相互間の取引高の相殺消去

2. 未実現損益の消去 (P社はS社の^{議決権多数}50%を所有)

(1) S社において、P社から購入した商品 20,000円が期末在庫にあり、未実現利益を2,200円削減する必要がある

未実現利益の消去

売上原価 2,200 商品 2,200 (控除)

(2) P社において、S社から購入した商品 30,000円が、期末在庫にあり、未実現利益を3,000円削減する

売上原価 3,000 商品 3,000 (控除)

少数株主持分 900 少数株主持分 900

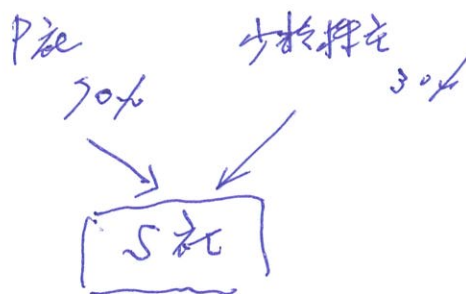
$$* 900 = 3,000 \times 30\%$$

少数株主に
負担される)

Pのもの調整

親会社と少数株主

合計合う!! $\Rightarrow$



3. 税効果会計

税効果会計とは、会計上の資産・負債と、
課税所得上の資産・負債を調整して、

(課税上の資産・負債を調整) 当期利益と課税所得
の調整を図りこむ。

一時差異に係る税金を適切な会計期間に配分する

連結会計上は、固有の一時差異として、

(1) 資本連結時の時価評価差額

(2) 連結会社相互間の未実現利益の消去

(3)

16. 連結会計

(1) 親会社と子会社(支配従属関係)

子会社の議決権の50%超の株主になること等により、親会社は子会社の意思決定を実質的に支配できる

(2) 連結財務諸表と連結の範囲

① 支配力基準 議決権基準(50%超)

② 影響力基準

(3) 支配獲得日の連結(B/Sのみ)－2000.4

① 100%所有

② 部分所有(60%)と非支配株主持分(40%)

③ 投資消去差額→のれんに計上

子会社資本金	3,000	S社株式	2,600 (投資額)
〃 利益剰余金	1,000 ※	非支配株式持分	1,600 (40%)
のれん	200		
	4,200		4,200

(4) 支配獲得日後1年目の連結－2001.3

① 開始仕訳

連結 F/S は、別の会社と見る。前期に行った連結仕訳は、両社の F/S には反映されておらず、再度連結修正仕訳を行う。

資本金(当期首残高)	3,000	S社株式	2,600
利益剰余金(〃)	1,000	非支配株式持分(当期首残高)	1,600
のれん	200		
	4,200		4,200

② のれんの償却

のれんは、発生年度の翌年度から10年間(20年以内)で均等償却する

のれん償却 20※

のれん 20

③ 上記の仕訳をまとめると、

資本金当期首残高	3,000	S社株式	2,600	※1,000+20
利益剰余金	1,020※	非支配持分	1,600	※1,000+0-(-20)
のれん	180	当期利益	-20	を戻し、1,000-(-20)
	4,200		4,200	

(5) 支配維持の後、2年目の連結－2002.3

① 開始仕訳

資本金当期首残高	3,000	S社株式	2,600
利益剰余金	1,020 ※	非支配持分	1,600
のれん	180		
	4,200		4,200

② のれんの償却

のれん償却 20※ のれん 20

③ 利益の計上 1,000

非支配株主に帰属する利益 400※ 非支配持分 400

④ 上記の仕訳をまとめると

資本金当期首残高	3,000	S 社株式	2,600	※1,020+20+400
利益剰余金	1,440※	非支配持分	2,000	※2,020-580
のれん	160	(当期利益 580(1,000-400-20)を戻し)		
	<u>4,600</u>		<u>4,600</u>	

(6) 支配獲得 3 年目の連結－2003.3

① 開始仕訳

資本金当期首残高	3,000	S 社株式	2,600
利益剰余金	1,440	非支配持分	2,000
のれん	160		

② のれんの償却

のれん償却 20※ のれん 20

③ 子会社の当期純損益の振替、当期利益 400

被支配株主持分の計算(400×40%)

被支配株主に帰属する当期純利益	160※	被支配株主持分当期変動額	160
(借方計上により親会社から減額)		(非支配株主分増)	

④ 子会社の配当金の修正

子会社の支払配当金の処理(配当金の支払時の処理)

利益剰余金	300	現金等	300
-------	-----	-----	-----

親会社の受取配当金の処理(配当金の受取時の処理)

現金	180	受取配当金	180
----	-----	-------	-----

グループに内部取引なので、連結上相殺する

受取配当金	180	剰余金の配当	180
		(利益剰余金)	

⑤ 非支配株主の減少分

被支配株主持分当期変動額	120※	剰余金の配当	120
(非支配株主分増)			

⑥ 上記の仕訳をまとめると

資本金当期首残高	3,000	S 社株式	2,600	※1,440+20+160-120
利益剰余金	1,500※	非支配持分	2,040	※1,440+400-340
のれん	140	当期利益 40(400-20-160+120)を戻し		
	<u>4,640</u>		<u>4,640</u>	

17. 連結会計②

(1) 連結会社間の内部取引と債権債務の消去

内部取引高		債権債務	
売上高	↔	売上原価	↔
受取利息	↔	買掛金	↔
受取配当金	↔	支払利息	↔
		支払手形	↔
		借入金	↔
		未払費用	↔
		未収収益	↔
		前受収益	↔
		前払費用	↔

(2) 期末貸倒引当金の修正

連結会社間の売掛金等に対する貸倒引当金は、債権債務の残高に応じて変更する

(3) 手形取引

① 受取手形と支払手形の相殺

② 貸倒引当金の計上、修正

③ 受取手形の割引

割引前の状態又は、受取手形／借入金と修正してから相殺

(4) 期末商品棚卸高に含まれている未実現利益の消去

① ダウンストリーム (親会社から子会社への売上)

② アップストリーム (子会社から親会社への売上)

(5) 非償却資産(土地)の売買

① 親会社から簿価 1,000 の土地を子会社へ 1,200 で売却
連結修正仕訳

(固定資産売却益) 2,000 (土地) 2,000

② 非支配株主への負担合計算

(非支配株主持分当期変動) 800 (非支配株主に帰属する当期純損益) 800

(6) 全般的な処理

① のれん償却

実施(利益剰余金減、非支配持分減)

② 配当金

実施(" 、 ")

③ 売上と原価

取消

④ 商品売買益

(上記で取消)

⑤ 貸倒引当金

調整消去(利益剰余金減、非支配持分減)

⑥ 土地取引

そのまま

⑦ 土地売却益

消去(利益剰余金減、非支配持分減)

△ 連結納税

2002年導入, 2011年改正

重要!! ~~子会社~~ ~~親会社~~

2017年改正

(1) 親会社がグループ全体まとめて申告納税

(2) Xリフト

① グループ内の損益通算

② 繰越欠損金の早期解消

③ 親法人の繰越欠損金はグループ全体で利用可能

④ 子法人繰越欠損金の引継ぎ

(3) 制度の留意点

① いच्छ選規から、原則連結適用

② 事務処理の増大

③ グループ経営のXリフトはありか

④ 5年以内の株式取得による子会社

⑤ ねせ"連結納税の必要ないか

⑥ 会社(グループ)の活動性にかかわらず

IV 連結納税

(1) 連結納税制度の目的

平成 14 年度税制改正により導入された制度である。

企業グループの一体性に着目し、あたかも一つの法人であるかのように捉えて損益を通算した上で、法人税を課税する仕組みである。

これは、企業グループの事業と課税を、法人単位のみを捉えて行うことなく、企業グループ全体を一体として取扱うことが、企業活動の実態にも沿っており、課税の公平を図ることになるからである。

(2) メリットとデメリット

① 企業グループ内の損益の通算

財務省の試算によれば、損益通算による企業側のメリットは約 8,000 億円にのぼるとされている。

② 未実現利益の繰延べ

グループ会社間の収益取引において最終の外部売上において課税が起きる。即ち、課税の時期が遅くなる。

③ 子法人の固定資産などの時価評価

連結初年度、あるいは連結グループへ加入時には、子法人の固定資産などの直前事業年度末での時価評価が必要である。(除、組織再編税制の適格要件を満たすもの)

④ 連結親法人に多額の欠損金があり、かつ、連結子法人において課税所得が発生する見込である企業グループに節税効果がある。

(3) 制度の適用範囲

① 100%子会社のすべてに導入する。(除、外国法人)

② 他の内国法人(普通法人または協同組合等)に発行済株式のすべてを保有されている法人は除く。内国法人の 100%子法人は連結親法人にはなれない。

③ 出口のない制度と言われており、いったん選択した後は取り止めることはできない。

(4) 申告期限等

① 連結事業年度終了の日の翌日から 2 ヶ月以内(2 ヶ月内の延長申請可能)

② 住民税、事業税、消費税等の税目については、それぞれの個別法人において確定申告を行う。

(5) 連結納税グループ内における税金の精算

黒字子法人 …… 親法人に向けて子法人が負担する (親法人が赤字の場合)
 赤字子法人 …… 親法人から子法人が受取る (親法人が黒字の場合)

(法人税率 30%として)

	(ケース 1)		(ケース 2)	
	所得(1)	課税(1)	所得(2)	課税(2)
親 P 社	1,000	300 (支払)	1,000	300 (支払)
子 A 社	300	90 (支払)	300	90 (支払)
子 B 社	△500	△150 (受取)	△3,000	△390 (受取)
所 得	800		△1,700	
納 付 ①		240		0
(単 体)②	(1,300)	(390)	(1,300)	(390)
差額①-②		△150		△390

	(ケース 3)	
親 P 社	△1,000	△300 (受取)
子 A 社	300	90 (納付)
子 B 社	2,000	600 (納付)
所 得	1,300	
納 付 ①		390
(単 体)②	(2,300)	(690)
差額①-②		△300

当期所得計算の全体チェック（説明例 105）

日 付 :
担当者 :

	説 明	A 社	B 社	C 社	D 社	合 計
	税引前当期純損益(a)	500	300	△200	0	600

連結所得金額の調整

1	単体ベースで計算する所得調整 減価償却費の損益算入限度超過額(b) →	200	100	—	0	300
2	連結ベースで計算する所得調整 寄附金の損金不算入額の調整(c) ←	—	50	50	0	100
3	連結納税特有の所得調整 グループ内譲渡損益の繰延(d)	200	—	—	0	200
	仮計 (e)=(a)+(b)+(c)+(d)	900	450	△150	0	1,200
4	連結欠損金当期控除額の算定 連結前欠損金の当期控除額(f) ←	△50	△250	—	0	△300
5	連結所得金額の算定 (g)=(e)+(f)	850	200	△150	0	900
6	連結法人税額(税額控除前)の算定 (h)=(g)×30%	255	60	△45	0	270

連結法人税額の調整

7	単体ベースで計算する税額調整 設備投資に係る税額控除(i) →	—	△20	—	0	△20
8	連結ベースで計算する税額調整 試験研究費に係る税額控除(j) ←	△55	△20	—	0	△75
9	納付すべき連結法人税額の算定 (k)=(h)+(i)+(j)	200	20	△45	0	175

→単体から、←按分計算から

10	法人税納付 A の未払法人税 B " C "	200 未払△200	20 未払△20	△45 未収 45	0	175
11	法人住民税					
12	法人事業税					

内 容	チェック事項	結果
確定決算値 A,B 黒、C 赤	(単体ベース)	
(単体ベース)	減価償却費 諸引当金	
一般寄付金 B200、C200 (以下、連結ベース)	受取配当金、交際費(資) 寄附金(連)(試)(控)	
A が簿価 300 の土地を C へ 100 で売却	譲渡損益修正 (土地含み損)	
連結前欠損金 A△50、B△250		
親法人の税率 30%		
情報基盤強化設備等 B△20 B 個別 135、連結 270 のため (単体ベース)		
研究開発費 A△55、B△20 税額基準 A40、B40 を合算比較	所得税額、外国税額 留保金課税、試験研究費	

個別帰属額の計算の過程（説明例 146）

日 付：
担当者：

(単位：百万円)

項 目		計算	A 社	B 社	C 社	合計	説 明	チェック
第 1 期所得金額		A	△450	△300	△150	△900	A,B,C とも赤字	
第 0 期分	連結欠損金(B 社分又は特定連結欠損金)	B	△200	△100	—	△300	0 期の繰欠	
第 1 期分	連結欠損金個別帰属額(うち特定分)	C=A	△450	△300	△150	△900	1期の△900の各社発生	
第 1 期末の個別帰属額合計額		D=B+C	△650	△400	△150	△1,200	第 1 期末の繰欠	

第 2 期所得金額		E	△160	100	△240	△300	A,C 赤、B、所得△300
第 2 期分	連結欠損金個別帰属額 ←	F	△120	0	△180	△300	2期の赤を A,C に按分
第 1 期分	連結欠損金個別帰属額	G=C	△450	△300	△150	△900	1 期の繰欠
第 0 期分	連結欠損金(B 社分は特定連結欠損金)	H=B	△200	△100	—	△300	0 期の繰欠
第 2 期末個別帰属額合計額		I=F+G+H	△770	△400	△330	△1,500	連結 2 期末の繰欠合計

第 3 期所得金額		J	300	300	300	900	A,B,C とも黒字
第 0 期分	(特)連結欠損金繰越控除額	K	—	△100	—	△100	0 期の(特)△100 控除
第 0 期分	(特)連結欠損金繰越控除後所得金額	L=J+K	300	200	300	800	控除後 3 期所得 800
第 0 期分	(非)連結欠損金繰越控除額	M	△200	—	—	△200	0 期の(非)△200 控除
第 0 期分	(非)連結欠損金繰越控除後所得金額	N=L+M	100	200	300	600	控除後 3 期所得 600
第 1 期分	連結欠損金繰越控除額 ←	O	△300	△200	△100	△600	1期 G△900 の残△600 を 第 1 期繰欠残により按分
第 3 期連結欠損金控除後課税所得		P=N+O	△200	0	200	0	控除後 3 期所得 0
第 2 期分	連結欠損金個別帰属額	Q=F	△120	0	△180	△300	2 期の繰欠
第 1 期分	連結欠損金個別帰属額 ←	R=G-O	△150	△100	△50	△300	1期 G△900 の△300 を按分
第 3 期末の個別帰属額合計額		S=Q+R	△270	△100	△230	△600	3 期末の繰欠合計

特定連結欠損金：各社の個別所得の範囲内で控除可能（H22 改正）
 非特定連結欠損金：連結グループ全体の所得から控除可能

ロジスティック曲線

イテロ-の法. 元入を10は太変

2020.07.06

2020.05.07

2020.03.29

2020.04.06

1. 人口増加や経済成長を近似的に説明するための曲線

2. マルサスモデル (ロジスティックの前提)

個体数を N 、比例定数を k とすると

個体数 N の増加率は、時間変化の割合となる

$$\frac{dN}{dt} = k \cdot N \quad \text{--- ①}$$

k : 比例定数

マルサスモデル N : 従属変数、人口

t : 独立変数、時間

(人口は時間の変数)

$$\frac{1}{N} dN = k dt$$

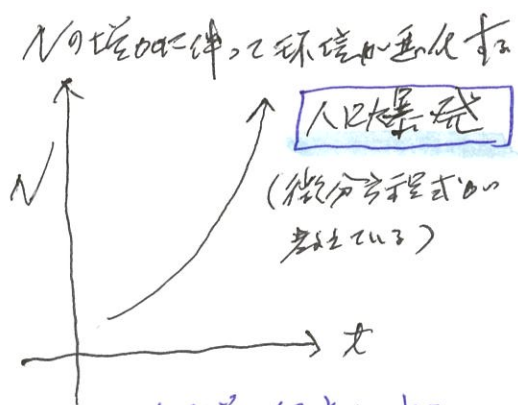
変数分離形で積分

$$\int \frac{1}{N} dN = k \int dt$$

積分すると

$$\ln N = kt + C$$

$$N = e^{kt+C}$$



3. N の増加は有限. 環境が悪化する (人口増加率)

$$\text{①式は } \frac{dN}{dt} = k_0 \left(1 - \frac{N}{M}\right) N$$

人口増加限度が出る
 M 最大許容数

$\frac{N}{M}$ を n とする

$\frac{N}{M}$ 個体数の最大許容数

個体数の最大許容数 (M)

N が M のとき $\frac{dN}{dt} \rightarrow 0$ に近づく

$\frac{N}{M}$ は 1 になり、 $1 - \frac{N}{M} = 0$ となるので

$\frac{N}{M}$ と n と L 、両方とも M に
 割ると
 $\frac{1}{M} \frac{dN}{dt} = k_0 (1-n) \frac{N}{M}$

$\frac{L}{M}, \frac{N}{M}$ は定数。
 M は人口許容数

$$\frac{d}{dt} \left(\frac{N}{M} \right) = k_0 (1-n) \frac{N}{M}$$

$$\frac{d}{dt} n = k_0 (1-n) n$$

$\uparrow$ $\frac{N}{M}$ は定数だから $\uparrow$

上式を変形すると $\frac{dn}{(1-n)n} = k_0 dt$ 、積分して

$$5. \int \frac{dn}{(1-n)n} = k_0 \int dt$$

$\frac{dn}{n} = \ln n$, $\frac{d}{(1-n)} = -\ln(1-n)$ ②

$$\ln n - \ln(1-n) = k_0 t + C_1$$

$$\ln \left(\frac{n}{1-n} \right) = k_0 t + C_1$$

$$\frac{n}{1-n} = e^{k_0 t + C_1} = C_2 e^{k_0 t}$$

逆数 $\frac{1-n}{n} = e^{\left[\frac{1}{C_2} \right] - k_0 t}$

$$\frac{1}{n} - 1 = C_3 e^{-k_0 t}$$

$$\frac{1}{n} = 1 + C_3 e^{-k_0 t}$$

$$n = \frac{1}{1 + C_3 e^{-k_0 t}}$$

ロジスティック曲線

5、 $k_0 = 1$ とおく

(k_0 値を定めているため)

$$n = \frac{1}{1 + C_3 e^{-t}}$$

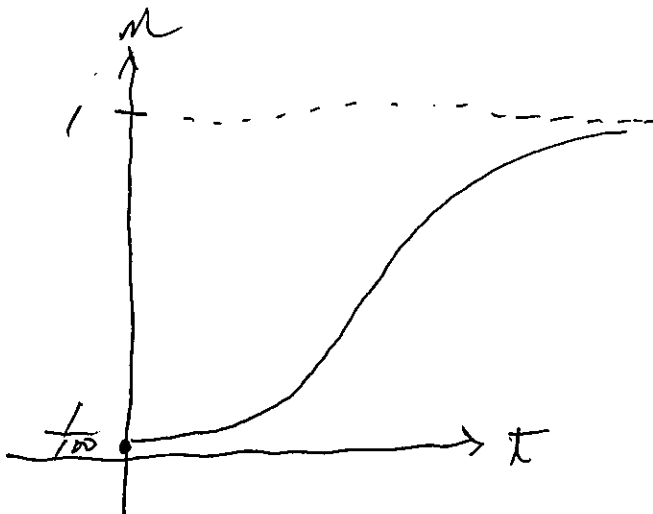
$$n = \frac{N}{M} \quad (0 < n < 1)$$

初期条件 $n(0) = \frac{1}{100}$

$$\frac{1}{100} = \frac{1}{1 + C_3 e^0} = \frac{1}{1 + C_3}$$

$$C_3 = 99$$

$$n = \frac{1}{1 + 99 e^{-t}}$$



微分方程式の中に
リプキンの
(人口の人口爆発率)を
加味することになる。

回归分析

Excel

2020.08.27
2020.08.20

1. セルA5をコピーして → セルB5に貼り付け

Excelでは、セルの参照に相対的な位置が用いられる — 相対参照

計算する数字は、今のセルといわなければならぬ位置にあるのか — この表現を内部で行っている

従って、B5をコピーしても、A1からA4の合計ではなく、B1からB5の合計が計算される。

2. 絶対参照 A5を絶対参照で表現すると F4キー

「\$」を前に付け、「\$A\$5」となる

A\$5と書くと、横方向のみ（行）、絶対参照、

「\$A\$5」と書くと縦（列）のみ絶対参照となる

3. 計算式 =PMT(\$C\$2/12, \$B5*12, C\$4)

PMT内書込は、利率、ローンの期間、ローンの元金に基づいて、ローンの支払額を決める

\$C\$2 — C2セルの利率

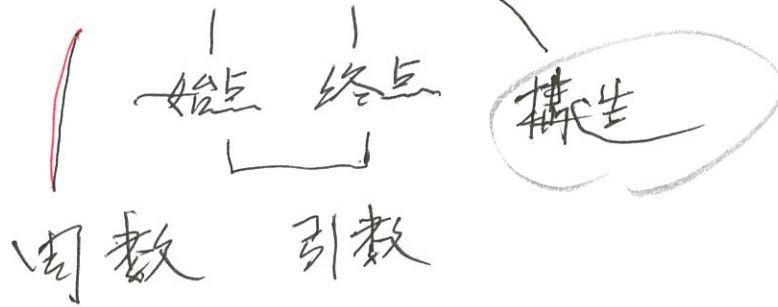
\$B5 — B5列の返済期間

C\$4 — C4行のローン支払期間

4. 関数, SUM

SUM(引数) 引数 — ひきすう, 関数が対象とする範囲, 値

$$= \text{SUM}(A1:A4)$$



5. 平均 $\bar{X}$

$$\bar{X} = \frac{1}{n} (X_1 + X_2 + \dots + X_n)$$

$$= \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n X_i$$

6. 母集団と平均

7. はらひ

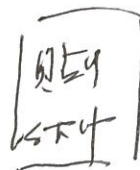
8. $X \equiv \checkmark$ (中央値) MEDIAN

9. $X \equiv \text{モト}$ (最頻値) MODE

10. AVERAGE (平均値) $\Rightarrow \text{AVERAGE}(\text{---})$

目的のセルを

選んでクリック



任意の

セルをクリック

11. 分散 σ_x^2

Variance

VAR

$$\sigma_x^2 = \frac{1}{n-1} \{ (X_1 - \bar{X})^2 + (X_2 - \bar{X})^2 + \dots + (X_n - \bar{X})^2 \}$$

$$= \frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^n (X_i - \bar{X})^2$$

--- 標本分散 (n)
--- 不偏分散 ($n-1$)

分散とは、 X から $\bar{X}$ の平均を引いたもの (散らばり、偏差) の2乗値を平均したもの

わざわざ2乗するのは、 X から $\bar{X}$ の平均を引いたものには、プラスもあれば、マイナスもあるので、これを平均しても散らばり傾向がうまくつかえないからである。

12 $n-1$

?

✕

分母の標本数がある n ではなく
 $n-1$ であるのは、分散を求める前に、平均を

求めたことにより、データの情報量が一つ減るを考
えらなければならない。このことを自由度と呼ぶ。

分散の値が大きいほど、データが散らばるの程度は
大きい。

13. 標準偏差

Standard deviation

(STDEV)

分散は、2乗した値であるので、

元の数と同じ単位を表現するために、

分散の平方根をとるものを用いる

これを標準偏差と呼ぶ

$$s = \sqrt{s^2}$$

$$= \text{VAR}(D3:D17)$$

$$= \text{STDEV}(D3:D17)$$

14. 共分散 Δ_{xy} covariance

5

2つの変数を一つの組と考える時の分散

また、2つの変数間の関係を示す統計量

2変数データの組 (X, Y) の平均を $(\bar{X}, \bar{Y})$ とすると

平均 $(\bar{X}, \bar{Y})$ から各組の散らばりも示す統計量

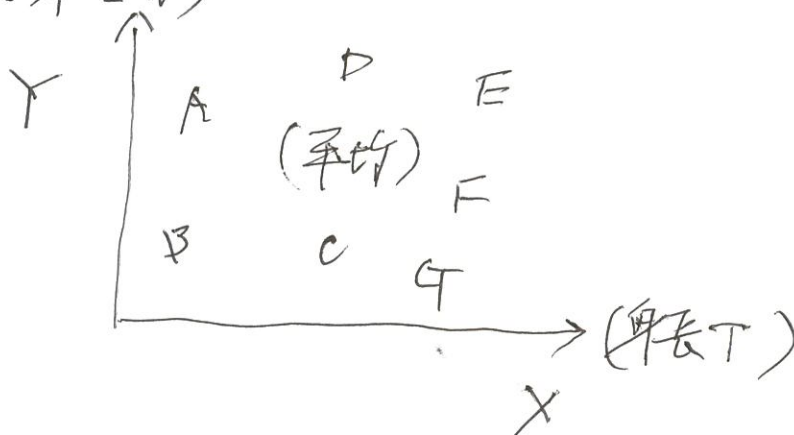
すなわち、2変数版の分散を定義することになる

$$\Delta_{xy} = \frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{X})(y_i - \bar{Y})$$

共分散は、2変数を1つの組と

考えるときの組の散らばりを示す。

(体量 W)



15 相関 correlation

6

相関係数は、共分散を各変数の標準偏差の積で割って求める

$$\text{相関係数 } R_{xy} = \frac{\sigma_{xy}}{\sigma_x \sigma_y} \quad \begin{array}{l} \dots \text{共分散} \\ \dots \text{標準偏差の積} \end{array}$$

$$= \frac{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})(y_i - \bar{y})}{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2 \sum_{i=1}^n (y_i - \bar{y})^2}$$

CORREL (変数1のT-値範囲, 変数2のT-値範囲)

16. 回帰式からの

予測

回帰式から求めるには

説明変数 X に サンプル外の数値 を代入して
サンプルの被説明変数を 予測 することになる

管理

被説明変数 (売上高) に対する

説明変数 (広告費) による

広告費の上限を定めることができる

回归分析

原因と結果の関係式

$$Y = aX + b \quad \text{因果関係}$$

因果関係

散布図 2変数データの分布

視覚で確認するの重要性

最小二乗法

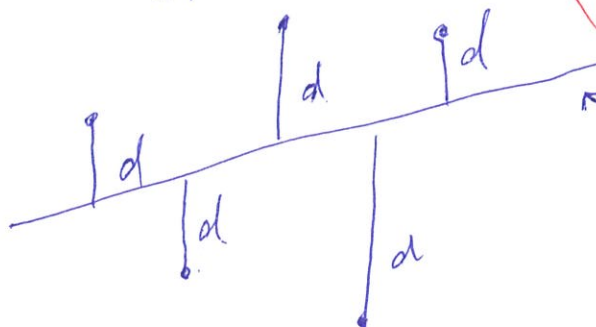
(平方和, 面積和)

残差の2乗和を最小にする直線が最も良い回归式。
誤差

$$Y = a + bX$$

残差を d とすると

$$\sum d^2 = \sum (Y - a - bX)^2$$



$$Y \pm d = a + bX$$

$$d^2 = (Y - a - bX)^2$$

$$\sum d^2 = \sum (Y - a - bX)^2$$

$$\leftarrow Y = a + bX$$

7

$D = \sum d^2 = \sum (Y - a - bX)^2$ の値を 最小 にする

a, b の値を決まれば、 D が最小になる。

Type
① 最小-最大

D が最小になるのは、 D の a, b に対する偏微分を
 左辺を a として a を偏微分 $\left(\frac{\partial D}{\partial a}\right)$, 右辺を b として b を偏微分 $\left(\frac{\partial D}{\partial b}\right)$
両方が 0 になる場合である。

分母 2 と消す(?) 分母もう一度消す(?)

$$\frac{\partial D}{\partial a} = 2 \sum (Y - a - bX) (-1) = 0$$

a を微分すると $-a$ になり、 (-1) になる a を微分 $(Y - a - bX)' = -1$

$$\frac{\partial D}{\partial b} = 2 \sum (Y - a - bX) (-X) = 0$$

b を微分すると $-bX$ になり、 $(-X)$ になる b を微分 $(Y - a - bX)' = -X$

a を微分すると ③

$$-2 \sum Y + 2 \sum a + 2 \sum X = 0 \quad \sum Y = \sum a + b \sum X$$

$$= na + b \sum X$$

$$\underline{a = \bar{Y} - b\bar{X} \text{ となる}}$$

$$b = \frac{n \sum XY - \sum X \sum Y}{n \sum X^2 - (\sum X)^2}$$

分母、分子を n で割ると

$$b = \frac{\sum (X - \bar{X})(Y - \bar{Y}) / n}{\sum (X - \bar{X})^2} = \frac{\sum XY}{\sum X^2}$$

$$Y = a + bX$$

$$Y = \bar{Y} - b\bar{X} + \frac{\sum XY}{\sum X^2} X$$

$$= \bar{Y} - \frac{\sum XY}{\sum X^2} \bar{X} + \frac{\sum XY}{\sum X^2} X$$

$$\boxed{= \bar{Y} + \frac{\sum XY}{\sum X^2} (X - \bar{X})}$$

因果関係の分析

$$Y = a + bX$$

① 予測

アイスクリームの売上

$$\text{売上件数} = a + b \times \text{気温} (^{\circ}\text{C})$$

この関係から一定期間内連続して考えれば、翌日の予想気温から、売上件数を予測できる

② 管理

$$\text{売上} = a + b \times \text{広告宣伝費}$$

目標とする売上高を決定されたら、

支出する広告宣伝費の上限の金額を定める

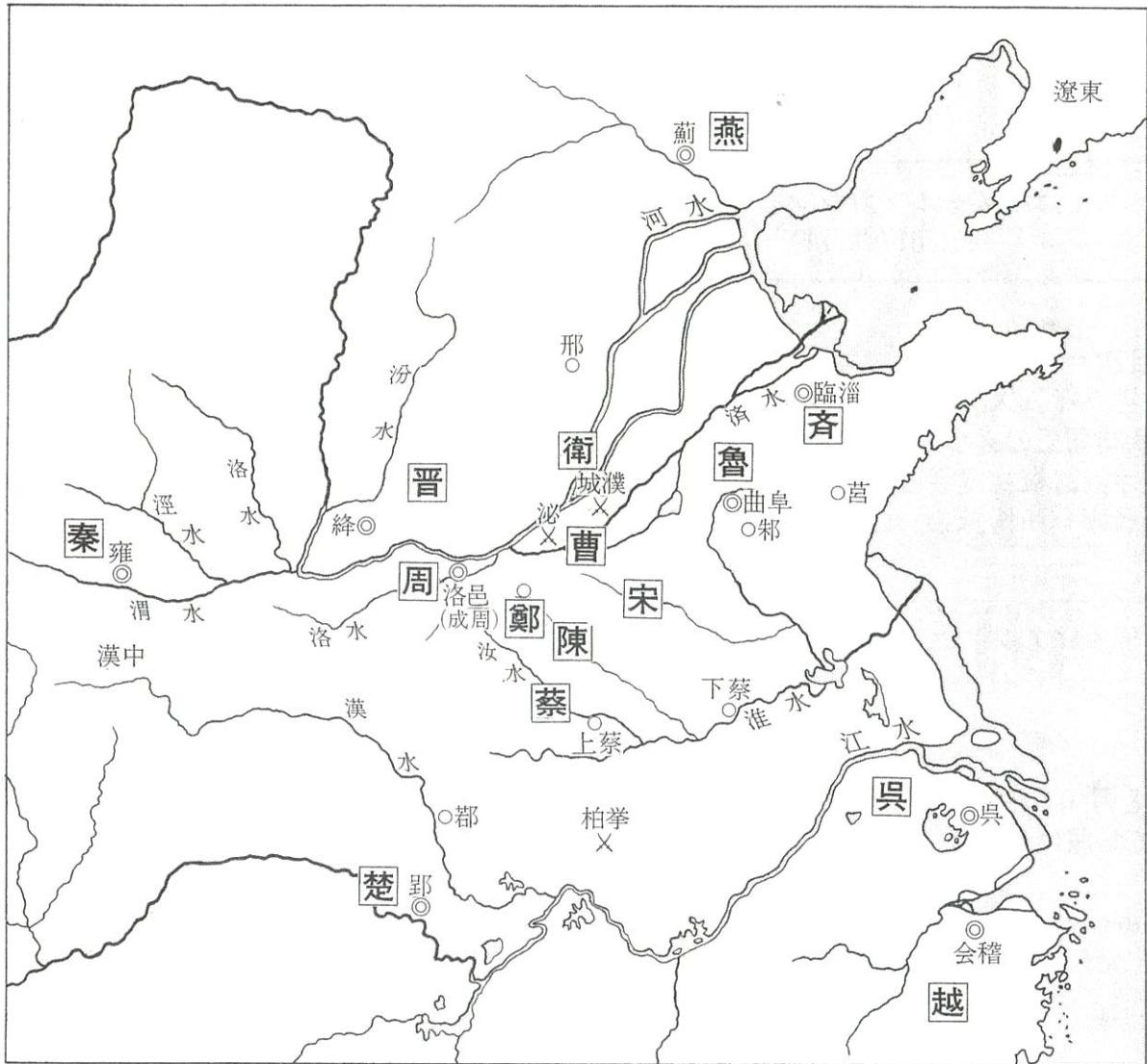
ことができる

②

春秋

春秋時代の中国

2020.05.07
2020.03.09
2019.07.08
2019.05.07



司馬遷史記 覇者の条件 1987.11. 徳間書店より

実利主義者である鄭は、新しい問題に直面すると、最初は何もせず
問題を理解しようと努め、それからようやく何をすべきかを決めた。
 周とハト組の脅威への対応策を考慮した際、近隣の東南や西の諸国との
 協力が早急に必要なと認識し、国を強化するためにこれら7つの諸国を併結した。
 けれど、これら7つの口ををどう向すると、今度は彼ら5つの協力を得るためには、
封（周の革命派に対する中川の支援を停止）、これを華人に居住するの連戦を示す
ことを奨励しなければならぬとわかった。
 周とハト組の脅威に対抗したから、四つの現代化の達成に必要な支援を獲得
 するための三つ上は、日本とアメリカの関係を強化しようとした。鄭の平和政策は、
 小国を助ける政策をなす必要はない!!
 2000

五年代魯，魯莊公請報邲邑以平。桓公許，與魯會柯而盟。魯將盟，曹沫以匕首却桓公於壇上。曰、反魯之侵地。桓公許之。已而曹沫去匕首，北面就臣位。桓公後悔，欲無與魯地而殺曹沫。管仲曰，夫劫許之，而倍信殺之，愈一小快耳。而棄信於諸侯，失天下之援，不可。於是遂與曹沫三敗所亡地於魯。諸侯聞之，皆倍齊而欲附焉。七年，諸侯會桓公於甄。而桓公於是始霸焉。

二十三年，山戎伐燕，燕告急于齊。齊桓公救燕，逐伐山戎，至于孤竹而還。燕莊公送桓公入齊境。桓公曰，非天子，諸侯相送不出境，吾不可以元禮於燕。於是分為，割燕君所至與燕，命燕君復修召公之政，納貢于周，加成康之時。諸侯聞之，比從齊。

与えることは 取ることにあつたと知るもの

政治の力がある

史記 管晏列伝

海にえを取らんと欲すれば、必ず国とえを与え

老子

桓公

NO.

DATE

鲍叔把管仲从死罪中救出来推荐为相，自己甘作下手，……
后来鲍叔死，管仲在他墓前哀悼说：“生我者父母，
知我者鲍叔。”后人将管鲍二人墓连在一起。

管仲改革主要内容有“桑田可税”，增加税收；

士农工商分居，职业世袭，保证社会生产稳定；

并利用本国优越的自然条件，设置盐官，铸盐，奖励盐
铁生产，并出炭给邻国，获取厚利。

军事上“作内政而寄军令”，把居民组织和军队编制结合
起来，组织三个军，利用农闲进行操练，做到夜里作战；只要
听到声音，就不会乱伍，白天作战，只要看见容貌，
大家就互相认识。从而加强齐国的军事力量。

管仲的政策、方法是要更研究的。我想 2020.07.04

PROGRAM NAME

繆公 1

PROGRAM NO.

PROGRAMMER

处理图

繆公听说百里奚有才能，想用重金赎回他，但又担心楚国不给，就派人对楚王说：“我家的陪嫁奴隶百里奚逃到这里，请允许我用五张黑公羊皮赎回他。”楚国答应了，交出百里奚。

繆公大说，授以国政，号曰五羊大夫。

处理手顺

秦は、国の東遷の際、大試と戦い、周を保護につとめた功により、諸侯の列に加えられた。

爵位は伯爵。九代目の繆公にいたって西北の雄といふ確固たる地位を固めてゆく。秦の繆公は、百里奚の評判を信じて、この人物を縛りたいと思ふ。

处理条件

在這時，百里奚已經七十多歲。
繆公解除了對他的禁錮，跟他談論國家大事。百里奚推辭說：“我是亡國大臣，哪里值得您來詢問？”
繆公說：“秦國君不任用您，所以亡國了。這不是您的罪過。”百里奚讓說：“我比不上我的朋友蹇叔，蹇叔有才能，可是世人沒有人知道。——我西去听了蹇叔的話，都得以逃脫險境。——因此我知道蹇叔的才能。”

于是繆公派人带着厚重的礼物去迎请蹇叔，让他当了上大夫。

蹇 jiǎn 叔 shū

繆公尋求人材的想
法很有價值，成
得很值得今後的參考

2020-07-04

DATE

PROGRAM NAME

繆公 乙

PROGRAM NO.

PROGRAMMER

处理图

晋军攻击繆公，繆公受了伤。这时，曾在岐山下偷吃繆公良马的三百多个乡下人不顾危险骑马冲进晋军，晋军的包围被冲开，不仅使繆公得以脱险，又活捉了晋君。

一〇

处理手顺

繆公度量很大，
他的幸运、他自己招来。

2020.07.04

处理条件

当初，繆公丢失了一匹良马，岐山下的三百多个乡下人一块儿把它抓来吃掉了，官吏提到他们，要加以法办。繆公说，“君子不能因为牲畜的缘故而伤害人。我所说，吃了良马肉，如果不喝酒，会伤人。”于是就赐酒给他们喝，并赦免了他们。这三个人听说秦国要去攻打晋国，都要求跟着去。在作战时，他们发现繆公被敌人包围，都高举兵器，争先死战，以报答吃良马肉被免的恩德。

DATE

PROGRAM NAME

PROGRAM NO.

PROGRAMMER

繆公

处理图

处理手顺

繆公对由余内道：“中原各国借助诗书礼乐和法律处理政务，还不时出现祸乱呢，现在戎族没有这些，用什么来治理国家，岂不很困难吗？”

由余笑着说：“这是正是中原各国发生祸乱的根源所在。自上古圣人皇黄帝创造了礼乐法度，并亲自带头贯彻执行，也只是实现了小小的太平。到了后代，君主一天比一天骄奢淫逸，—— 无须了解什么治理的方法，

处理条件

这大抵正是各人治理国家。

繆公提出的疑问，是非存好，他的统治成功的原因。

2020.07.04

—— 繆公又屡次派人礼聘邀请由余，由余于是离开戎王，投降了秦国。繆公以宾客之礼相待，对他非常尊敬，问他询问应该在什么样的形式下进攻戎族。

DATE

六韜 文王太公望

No.

1-2

Date

文王將田。史編布卜曰、田於渭陽將大得焉。非菴、非虎、
bì bǐ

非得公侯。天遺汝師、以文佐昌施及三王。

文王乃齋三日、乘田車駕田馬、田於渭陽。

zhāi 齋戒沐浴 zhāi jiè mù yù

卒見太公坐茅以漁。文王旁而問之曰、子樂漁耶。

太公曰、釣有三權。祿等以權、死等以權、官等以權。夫釣以求得也。

縵微餌明、小魚食之、縵綢餌香、中魚食之、縵隆餌豐、大魚食之。

夫魚食其餌、乃牽於縵。人食其祿、乃服於君。故以餌取魚、

魚可殺。以祿取人、人可竭。以官取國、國可叛。以日取

天下、天下可畢。嗚呼、曼曼縣縣、其聚必散。熙熙日昧、其光必遠。

微哉聖人之德、活乎獨見。梁哉、聖人之慮、各歸其次而主欲焉。

天下非人之天下、乃天下之天下也。同天下之利者、則得天下。

擅天下之利者、則失天下。天有時、地有財。能與人共者、仁也。

仁之所在、天下歸之。

2020.07.04

②

桓公

huán

春秋

2018.07.09

2018.03.12

2018.01.08

2017.12.04

2017.09.04

2018.09.10

目的は何？

2019.01.07

管仲射中小白衣带钩。小白假装死了，管仲派人飞报鲁国。鲁国护送公子纠的部队速度就放慢了，六天才到齐国，而小白已先入齐国，高傒立其君，就是桓公。

机会、良机，绝好的时机

桓公当时被射中衣带钩之后，装死迷惑管仲，然后藏在湿车中飞速行进，也因为有高氏和国氏两家族为内应，所以能够先入齐国继位，派兵抵御鲁军。

桓公即位时，派兵攻鲁，本欲杀死管仲。鲍叔牙说：“我有幸跟从您，您终于成为国君。您如果想成就霸王之业，没有管夷吾不行。夷吾所居之国，其国必定强盛，不能失去这个人才。”于是桓公听从此话。就假召回管仲，报仇雪恨，实际是想任他为政。管仲心里明白，所以要返回齐国。

桓公得到管仲后，与鲍叔共同修治齐国政事，组织基层五家连兵无制，开发商业流通，渔业盐业优势，用以给民众，奖励贤能之士，齐国人欢欣。

万乘の国には、万金の賈利。千乗の国には、必ず千金の賈利。……君の頼むところ非ざるなり。君の与う所なり。……

政治の良し、国が富むこと。商人が集まって（市）です。商人の集まりが市令で、市令の良しは国の富み。……もっと大層な政治を市令で良しにするに努力するべきです。……（市令の良しは、国が富むこと）

3
独谏する「長」の下に有能な部下は育たない

武侯嘗謀事、群臣莫能及。罷朝而有喜色。
起進曰、昔楚莊王嘗謀事。群臣莫能及。罷朝而有憂色。
申公曰曰、君有憂色何也。曰、寡人聞之。世不絕聖、國不乏賢。
能得其師者王、能得其君者霸。今寡人不才、而群臣莫及者。
楚國其殆矣。此楚莊王所憂。

主页	儒家	道家	佛经	法家
百家	兵法	中医	正史	历史
易经	南怀瑾全集	小雅	民歌	书城

好消息：易经视频教程《周易雅说》开始发布。本教程用一种全新的方式（语音+文字+动画）来解读周易，可以带领您从入门到精通地学习周易。想学周易的朋友可在“干聊”APP中搜索“劝学网小雅”学习（APP可全屏学习），也可用微信扫二维码加入学习（微信不能全屏学习）

《无量义经》第二品 说法

尔时，大庄严菩萨摩诃萨与八万菩萨摩诃萨，说是偈赞佛已，俱白佛言：“世尊，我等八万菩萨之众，今者欲于如来法中有所咨问。不审世尊，垂愍听不？”

佛告大庄严菩萨及八万菩萨言：“善哉！善哉！善男子，善知是时，恣汝所问。如来不久当般涅槃！涅槃之后，普令一切无复余疑。欲何所问，便可说也。”

于是大庄严菩萨与八万菩萨，即同声白佛言：“世尊，菩萨摩诃萨欲得疾成阿耨多罗三藐三菩提，应当修行何等法门？何等法门能令菩萨摩诃萨疾成阿耨多罗三藐三菩提？”

佛告大庄严菩萨及八万菩萨言：“善男子，有一法门，能令菩萨疾得阿耨多罗三藐三菩提。若有菩萨学是法门者，则能疾得阿耨多罗三藐三菩提。”

“世尊，是法门者，号字何等？其义云何？菩萨云何修行？”

佛言：“善男子，是一法门，名为无量义。菩萨欲得修学无量义者，应当观察一切诸法，自本来今性相空寂，无大无小，无生无

ものごとのありよう

灭, ^{止まっている}非住非动, 不进不退, 犹如虚空无有二法。而诸众生虚妄横
 计, 是此是彼, 是得是失, 起不善念造众恶业, 轮回六趣备诸苦
 毒, 无量亿劫^{抜けぬほどに苦しむ}不能自出。菩萨摩訶萨如是^{はつちと見極め}谛观, ^{あつちみかひをもちて}生怜愍心, 发大慈
 悲, 将欲救拔。^{また}又复深入一切诸法, 法相如是生如是法, 法相如是
 住如是法, 法相如是异如是法, 法相如是灭如是法; ^{現在の法}法相如是能生
 恶法, 法相如是能生善法, 住、异、灭者亦复如是。菩萨如是观察
 四相始末悉遍知己, 次复谛观一切诸法, 念念不住, 新新生灭, 复
 观即时生、住、异、灭。如是观已, 而入众生诸根性欲; 性欲无量^{そい 人々の欲望}
 故, 说法无量; 说法无量, 义亦无量。^{救度したい}

“无量义者, 从一法生。其一法者, 即无相也。如是^{差別のなみの}无相, 无
 相不相, 不相无相, 名为^{名付けて実相という}实相。菩萨摩訶萨安住如是真实相已, 所
 发慈悲明谛不虚, 于众生所真能拔苦; 苦既拔已, 复为说法, 令诸
 众生受于快乐。善男子, 菩萨若能如是修一法门无量义者, 必得疾
 成阿耨多罗三藐三菩提。善男子, 如是甚深无上大乘《无量义
 经》, 文理真正, 尊无过上, 三世诸佛所共守护, 无有众魔群道得
 入, 不为一切邪见生死之所坏败。^{是故}是故, 善男子, 菩萨摩訶萨若欲^{そい}
 疾成无上菩提, 应当修学如是甚深无上大乘《无量义经》。”
^{果しては、速く速く}

尔时, 大庄严菩萨复白佛言: “世尊, 世尊说法不可思议, 众
 生根性亦不可思议, 法门解脱亦不可思议。我等于佛所说诸法无复
 疑惑, 而诸众生迷惑心, 故重咨问。世尊, 自从如来得道已来四
 十余年, 常为众生演说诸法四相之义, 苦义、空义、无常、无我,
 无大无小, 无生无灭, 一切无相, 法性法相本来空寂, 不来不去,
 不出不没。若有闻者, 或得暖法、顶法、世第一法、须陀洹果、斯
 陀含果、阿那含果、阿罗汉果、辟支佛道, 发菩提心登第一地、第
 二、第三至第十地。往日所说诸法之义, 与今所说, 有何等异? 而